



# 桶川東中だより

☆★令和3年度★★☆

桶川東中学校通信 No.2 発行：5月10日（月）

## 「思いやりと真心」 ～渋沢栄一の生き方に学ぶ～

校長 矢澤 等

本校の図書室には、現在、「渋沢栄一コーナー」が設けられています。渋沢栄一は、埼玉県深谷市の出身で、現在放映されている大河ドラマ『青天を衝け』で、その生涯が描かれています。江戸後期に生まれ、明治・大正・昭和と激動の時代を生き、「日本資本主義の父」として600社近くの会社設立に関与し、実業の側から近代日本を作ってきた人物です。2024年からは、新一万円札にその肖像が採用されることが決まっています。



渋沢栄一の講演をまとめた書に、『論語と算盤（ろんごとそろばん）』があります。「論語」は、古代中国の思想家、孔子が語った道德観を弟子たちがまとめたもので、二千年以上前に著されています。「人はどう生きるべきか」「どのようにして振る舞うことが人として良いのか」を学ぶ教科書として、今日まで長きにわたり世界中で読まれているものです。中学3年生の国語の教科書には、漢文の学習として、この論語が掲載されています。

当時の社会は、商売に学問や道德は必要ではないとされる風潮がありましたが、栄一は、「道義を伴った利益を追求せよ」「自分より他人を優先し、公益を第一にせよ」と主張し、利益を得ることと世の中に尽くすことを両立すべきと考えを示しました。そのため、数多くの会社の起業に尽力したほか、様々な福祉事業や医療事業、各種学校の設立にも関わり、経済成長と人間社会のあり方との両面で日本を導いていきました。

生徒の皆さんは、学校生活や部活動等で、自分に与えられた役割を果たしたり、持ち味を発揮したりすることで、自己肯定感や満足感を得ていることと思います。同時に、学級や学年、学校全体の発展や、仲間たちの成長にも目を向けられるとよいと思います。私たちも、渋沢栄一の生き方から「思いやりと真心」を学び、自分自身を磨いていきたいと考えています。

### 5月の生活目標

- ・学校生活でのルールを確認しよう。
- ・体力の向上を目指そう。

### 重点目標

- ・身だしなみを整える。

